

5月2日の基準価額の下落について

2016年5月2日

当社公募投信のうち、以下のファンドの基準価額が5%以上下落していますので、お知らせいたします。

※ブル・ベア型投信、ETF(上場投資信託)を除く。

回次コード	5月2日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比騰落率
3192	利回り株チャンス 米ドル型(年4回決算型)	7,060 円	-381 円	-5.1%
3198	ダイワJPM日経400ファンド(米ドル投資型)	10,199 円	-658 円	-6.1%
5625	ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジなし)	9,028 円	-495 円	-5.2%
5757	通貨選択型ダイワ・トップ・オブ・ジャパン(米ドル投資型)	9,486 円	-552 円	-5.5%
5768	ダイワ日本株ストラテジー α(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)	9,442 円	-503 円	-5.1%

※当日の収益分配金(税引前)支払い前の価額を用いて前日比騰落率を算出しています。

次頁に各市場の動向についてのコメントを掲載しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

◆以下に、基準価額の変動要因となった主な市場環境について掲載します。

【基準価額下落の要因】

<国内株式市場>

4月28日および5月2日の国内株式市場は、2営業日続けて大幅に下落しました。27日から28日にかけて開催された日銀金融政策決定会合において、日銀は主要政策の現状維持を決定しましたが、事前のエコノミスト調査などで半数程度が追加緩和を予想していたこともあり、市場では失望が先行しました。また、その内容に関わらず材料出尽くしとの思惑もあり、28日の国内株式市場は大幅に下落しました。

また、5月2日の株式市場も軟調な展開が継続しました。為替の急激な円高が企業業績にマイナスの影響を及ぼすとの懸念が広がり、特に自動車関連株を中心に続落しました。

<米国株式市場>

日銀金融政策決定会合で追加緩和が見送られたことによる失望や、低調な内容だった1-3月期GDP(国内総生産)成長率などを背景に市場に頭打ち感が漂う中、1-3月期企業決算が振るわなかった銘柄を中心に米国株式市場は軟調に推移しました。また、バイバック指数は半導体関連銘柄や航空関連銘柄を中心に下落しました。

<為替市場>

米ドルは対円で大幅に下落しました。日銀が追加緩和を見送ったことや、米国の低調な経済指標、欧米の株式市場の下落を受けたリスクセンチメントの悪化を背景に、急激に円高が進行しました。

以上

【主要指標の動き】

市場指数

	直近値 5月2日	騰落率 4月28日比
TOPIX	1,299.96	▲3.0%
日経平均株価	16,147.38	▲3.1%
JPX400	11,749.49	▲3.1%

市場指数

	直近値 4月29日	騰落率 4月27日比
S&P 500種	2,065.30	▲1.4%

為替(対円)

	直近値 5月2日	騰落率 4月28日比
米ドル	106.42	▲3.0%

※上記の為替騰落率は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。

市場指数

	直近値 4月28日	騰落率 4月27日比
TOPIX	1,340.55	▲3.2%

為替(対円)

	直近値 4月28日	騰落率 4月27日比
米ドル	108.56	▲2.4%

※上記の為替騰落率は、ロンドン時間16時のレートを元に算出しています。

(出所)ブルームバーグのデータを基に大和投資信託作成

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ファンドの費用について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	料率の上限は、 3.24%(税込) です。	運用管理費用 (信託報酬)	費用の料率の上限は、 年2.1816%(税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.296%(税込) です。	その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 (その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。		

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会